

平成27年度予算

予算総額152億270万円

一般会計 91億2,400万円
特別会計 60億7,870万円

前年度増減額8億2,670万円（増減率5.8%）

【概要】 訪日観光客の増加や東京オリンピックなど観光振興に明るい兆しが見える一方、地方においては円安や株価上昇による景気回復の実感に乏しく、消費税引き上げや輸入関連商品の値上げが重なり、先行きは期待と不安が混在しています。

また本年度は、町税収入の大幅な減少が見込まれる一方で、国民健康保険や介護保険など社会保障給付が右肩上がりが増加しており、さらに第3号公共下水道事業をはじめとした社会インフラ整備など喫緊の課題に予算配分を要し、本町の財政状況は今までに経験のないほど大変厳しいものとなっています。

このような中「第5次総合計画」の着実な進捗を図るため、限りある財源の有効かつ効率的な活用に努め、経常経費抑制の徹底と事業の「選択と重点化」を推進しつつ、住民サービスを後退させることのないよう予算を編成しました。

【歳入】 町税では、固定資産税が評価替えの影響により2億2,140万円の大幅な減収となるなど、町税全体で2億5,200万円の減と見込んでいます。

また、景気回復が地方へ行き渡っていないため、各種譲与税や交付金の増も見込めない状況となっています。

【歳出】 平成26年度に引き続き、消防無線デジタル化へ対応するための整備工事や、大規模建築物の耐震診断・耐震改修に係る費用の補助を行う他、新たに医療機器購入費用に対する補助を導入することにより、町内医療

予算総額

平成27年度一般会計予算の総額は、91億2,400万円となり、前年度より5億8,200万円の増額となりました。

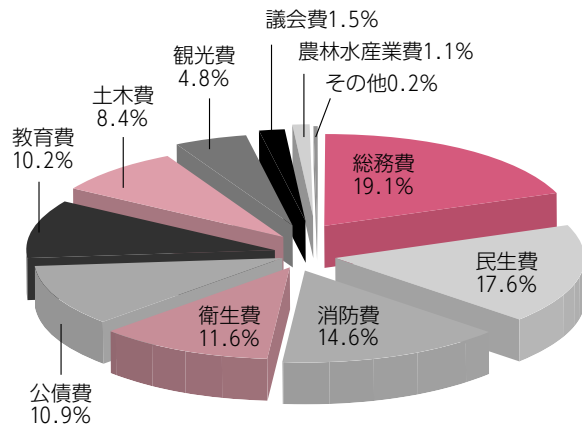
本年度は、前年度に増して厳しい財政状況ですが、人件費を含む経常的経費の削減を徹底し、国などからの借入れを活用して財源を捻出し、町の将来や差し迫った課題に対応するための施策に重点的な配分を行い、防災・減災のための施策をはじめとした住民サービスが低下しないようにしました。

歳入・歳出

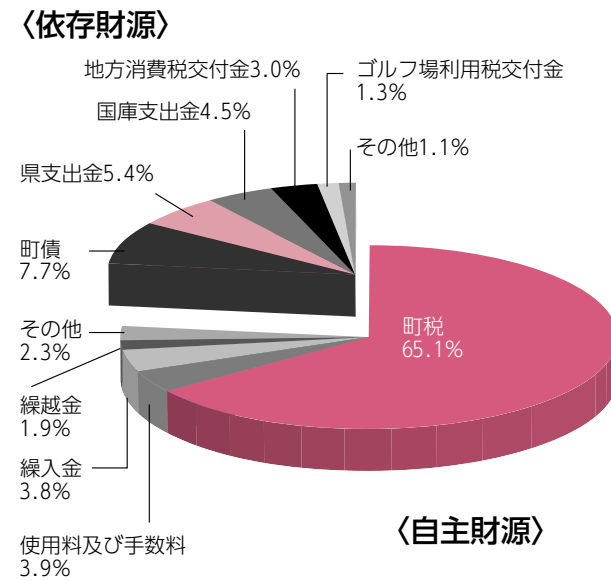
機関の医療水準向上を図ります。また「防災・減災」のための施策として、防災行政無線を改修し、はしご付消防自動車・高規格救急自動車を更新します。

さらに「人口減少・少子化対策」という町の重要課題に対する取り組みについては、不妊症や不育症治療費の一部助成や、放課後児童クラブの対象学年の拡大、宮城野保育園新園舎建設のための準備を進めていきます。

歳出



歳入



●町税の内訳

税目	予算額	前年度増減額
固定資産税	40億1,820万円	△2億2,140万円
町民税	10億3,570万円	△1,320万円
入湯税	6億9,250万円	△1,070万円
町たばこ税	1億7,560万円	△840万円
軽自動車税	2,200万円	170万円
合計	59億4,400万円	△2億5,200万円

自主財源	予算額	前年度増減額
町税 (町に納められる税金)	59億4,400万円	△2億5,200万円
使用料及び手数料 (施設の利用料や住民票などの交付手数料として支払われるお金)	3億5,774万円	△2,191万円
繰入金 (基金の取り崩しにより繰り入れるお金)	3億4,252万円	3億827万円
繰越金 (前年度から繰り越されるお金)	1億7,000万円	600万円
その他 (財産収入、分担金および負担金、寄付金など)	2億1,412万円	△1,652万円
合計	70億2,838万円	2,384万円

依存財源	予算額	前年度増減額
町債 (国や県、金融機関から借り入れるお金)	7億540万円	2億8,360万円
県支出金 (事業など特定の目的の財源として県から交付されるお金)	4億9,022万円	1億7,571万円
国庫支出金 (事業など特定の目的の財源として国から交付されるお金)	4億830万円	1億835万円
地方消費税交付金 (地方消費税として徴収し、町の人口割合などに応じて交付されるお金)	2億7,400万円	900万円
ゴルフ場利用税交付金 (県に納められたゴルフ場利用税からゴルフ場のある町に交付されるお金)	1億1,500万円	△500万円
その他 (地方譲与税、自動車取得税交付金、地方特例交付金など)	1億270万円	△1,350万円
合計	20億9,562万円	5億5,816万円

特別会計

町の予算には一般会計の他に「特別会計」と「水道事業会計」があります。これらは特定の事業を行う場合や、町特有の仕事をするために、一般会計と区別して設けられており、特定の収入を特定の支出に充てるなど、それぞれの会計内でやりくりしています。

教育費 9億3,397万円
(前年度増減額 5,003万円)

幼稚園、小・中学校の運営、文化財保護など教育全般に使うお金

- 高等学校等通学費補助事業
- 郷土資料館施設整備事業
- 箱根閣所整備事業

土木費 7億6,699万円
(前年度増減額 7,831万円)

道路、公園整備、住宅管理などに使うお金

- 町道仙202号線道路整備事業
- 湯本山崎オランプ接続町道整備事業

観光費 4億3,877万円
(前年度増減額 79万円)

町の観光宣伝として開催する事業や産業振興などに使うお金

- 芦刈の里活性化事業
- 観光施設整備事業
- 観光情報推進事業

議会費 1億3,101万円
(前年度増減額 261万円)

議会運営のために使うお金

農林水産業費 1億83万円
(前年度増減額 633万円)

農林業や水産業の振興のために使うお金

- 豊かな森林づくり事業

その他 2,003万円
(前年度増減額 0万円)

災害復旧費、予備費など

総務費 17億4,361万円
(前年度増減額 1億6,813万円)

町の事務・庁舎管理、選挙など町の総括的な事務に使うお金

- 防災行政無線整備事業
- 固定資産台帳整備事業
- 要緊急安全確認大規模建築物耐震化補助事業

民生費 16億20万円
(前年度増減額 2,675万円)

福祉サービス、各種医療の助成など福祉全般に使うお金

- 宮城野保育園建設事業
- 老人福祉センターやまなみ荘整備事業
- 臨時福祉給付金給付事業

消防費 13億3,287万円
(前年度増減額 2億4,393万円)

消防・救急活動、防火水槽や消火栓の設置などに使うお金

- 消防無線デジタル化推進事業
- 消防車両整備事業
- 救急業務高度化推進事業

衛生費 10億5,872万円
(前年度増減額 1,812万円)

保健衛生、ごみ処理、環境保全など衛生的な生活のために使うお金

- 不妊・不育症治療費助成事業
- 地域医療体制推進事業
- ごみ減量化・再利用推進事業

公債費 9億9,700万円
(前年度増減額 △1,300万円)

町債(借入金)を返済するお金

特別会計予算 60億7,870万円	会計名			
	当初予算額	前年度増減額	増減率	
前年度増減額2億4,470万円 増減率4.2%	特別会計	54億5,870万円	2億5,440万円	4.9%
	国民健康保険	18億3,700万円	1億9,900万円	12.1%
	後期高齢者医療	2億9,710万円	80万円	0.3%
	介護保険	11億4,900万円	7,350万円	6.8%
	4 財産区	490万円	△30万円	△5.8%
	温泉	1億5,700万円	900万円	6.1%
	育英奨学金	3,270万円	△560万円	△14.6%
	下水道事業	19億8,100万円	△2,200万円	△1.1%
	水道事業会計	6億2,000万円	△970万円	△1.5%